

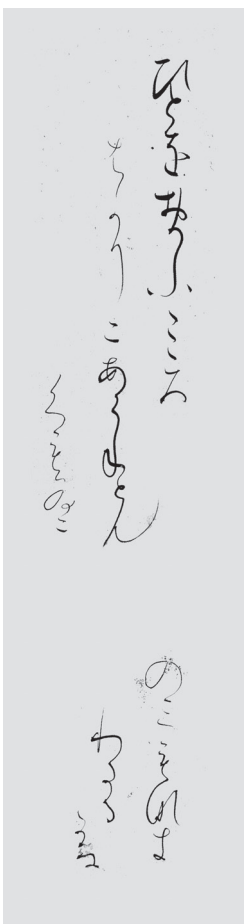
一字書課題

(11月22日締切)

漠

- (1) 書体自由
 - (2) 半紙タテ ※ヨコは中止
 - (3) 落款は余白に調和を工夫し書き入れる
 - (4) 出品料 四四〇円
 - (5) バーコード券貼付
- 太枠内の臨昇の隣の空欄に一字と記入 段級は無記入

条幅随意参考

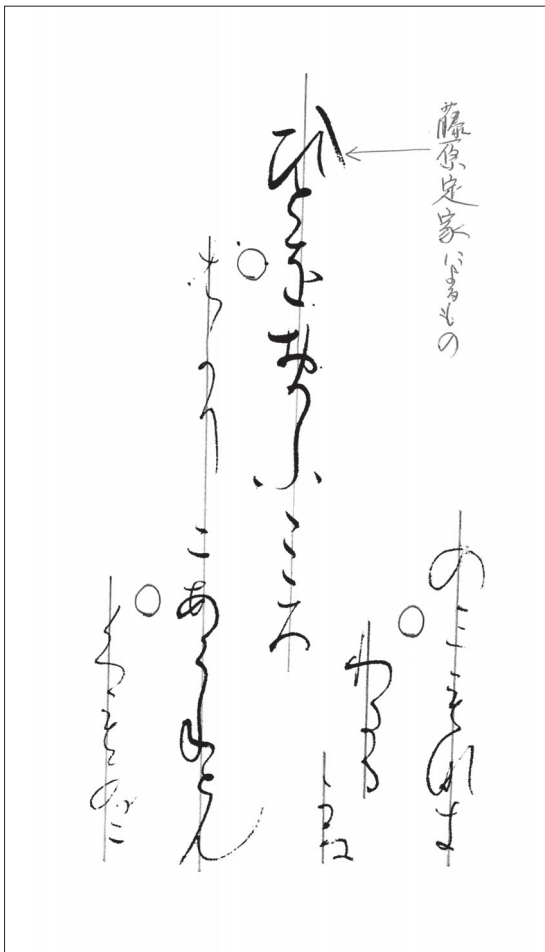


半切に上・下二段構成で臨書する。落款は下段の「可奈」のそばに「〇〇臨」と収まりよく入れる。

※条幅は一枚目無料、二枚目から五五〇円。
(半紙臨書課題と同じ語句)

半紙臨書課題 宮 絢子先生担当

(11月22日締切) 出品料440円



升色紙 第八回 伝藤原行成筆

1、語句「ひとをお无ふころ者可り二あら年と无久毛み二の三毛那支わ多る可奈」

2、形式「半紙をたてに使用し、小筆で臨書する。落款を入れるスペースがないため、雰囲気をごわさないよう、左隅に「〇〇臨」と入れる。

3、概観「升色紙に見られる散らし書きは、一般的な散らし書きとしての①行頭・行脚の高さ。②行間の広・狭。③各行の傾き方。④墨量(潤濁)の変化。⑤線(太・細)の変化。のほかに⑥行をかぶせているもの。⑦全体に余白が多いもの。⑧後半の句を、流れに逆らい右側に置いたもの。などが見られます。

4、今回の「散らし書き」のポイント
その一 後半の句を右下に置くこと。

料紙のほぼ中央から「ひとをお无ふころ」を書き始める。「ひ」の右上の「丶」は臨書しない。定家の加筆。「者可り二あら年と无」も比較的上の方から書く。「久毛み二」は低く書く。「の三毛那支」「わ多る」「可奈」を料紙の右下に三行に書く。

その二 全体に余白の多い作品にすること。

料紙の左半分を意識的に広くあけている。

右下に書いた三行の高さ(低さ)から、右上に広い余白ができています。

その三 行間の取り方に大きな変化(広・狭)をつけないこと。行の傾きもほとんどなし。

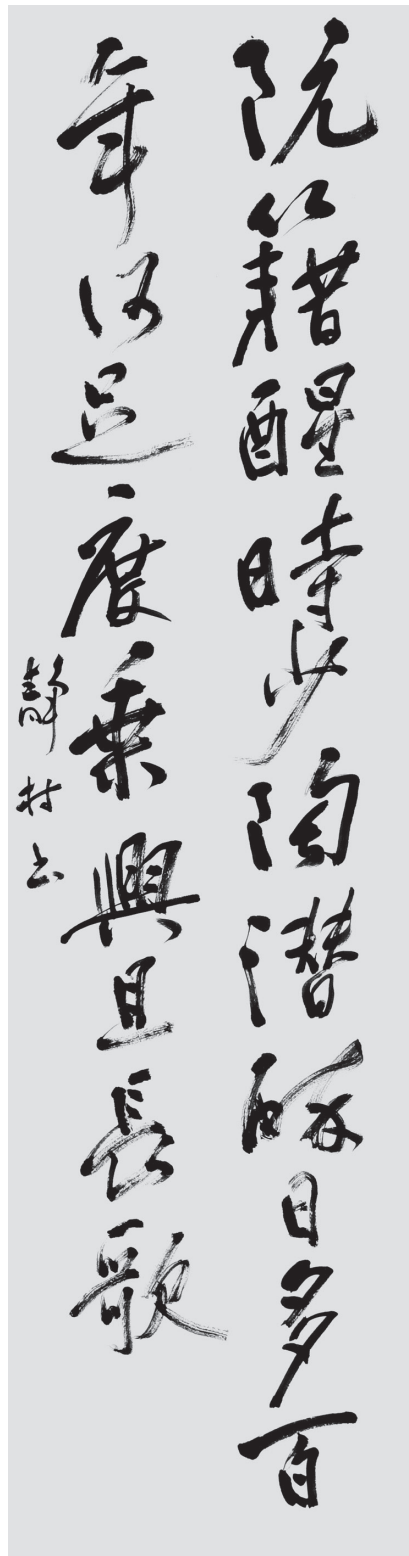
全体に余白が広々としていたりすることや、後半の句を右側に置くという、思いきった「散らし方」を、学習者は自分の作品制作の参考にしたい。

条幅部漢字課題参考 (十一月二十二日締切)

一般部

A 鈴木静村先生書

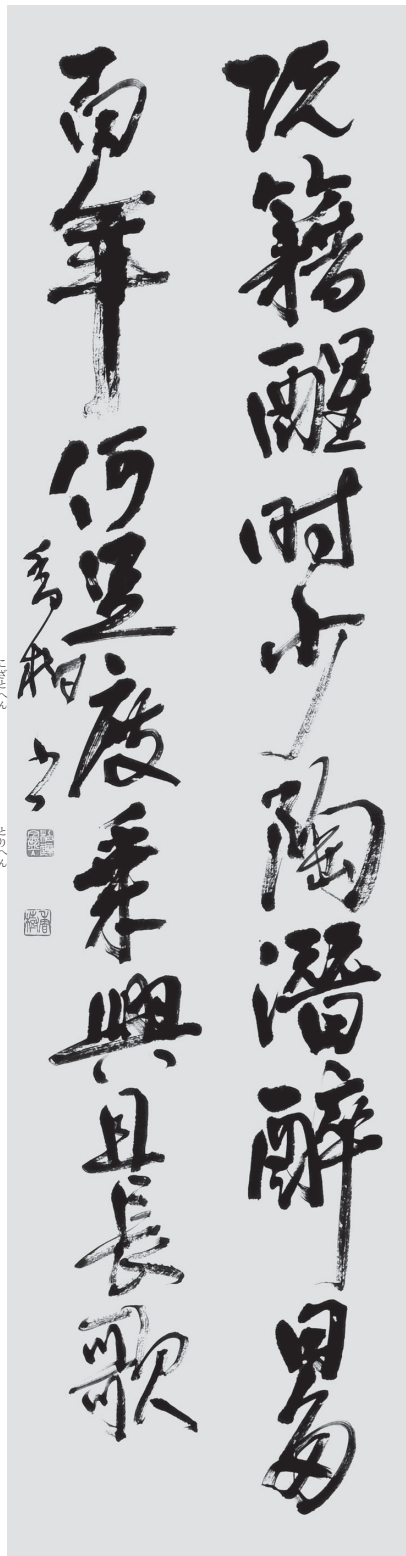
阮籍醒時少 陶潛醉日多 百年何足度 乘興且長歌 (王績)
 阮籍は醒時少なく、陶潛は酔日多し。百年何ぞ度るに足らん、興に乗じて且た長歌す。



B

高橋香樹会長書

二十字詰め(五言絶句)。字詰めが11字、9字と密になるので、墨継ぎによる「潤」を明確に表出するように努めて下さい。阮 偏の縦画を内方向にし左に傾けると、一つの「緊め」になる。醒 時 偏を左傾させ、旁を逆に稍々右傾させて、一字を緊めていきます。左行、年 末画は細くきりつと。何 足 渴筆の喰い込みを。度 「文」は古典に多い。乗 左右の払い楷書も点二つ。興 末二点に活きを。且 長 歌 渴筆になった場合は、鋒先を利かせ、筆意を鎮めて用筆のこと。



五言絶句二十字。行書を主として考えてみました。「阮偏」が二字。「西偏」が二字。懸針のある字が二字ありますが、「阮・陶」は草・行で、「醒・醉」は、裾すばまりと裾広がりとし、懸針は、質的な表出の違いとしました。墨継ぎは、「潜」と「何」。

訳：阮籍はいつも酒を飲んでるので、醒めている時が少ない。陶潜もほとんど毎日酔っている。人生は短い。せいぜい生きても百年じゃないか。気持ちがいいのでまた歌おう。

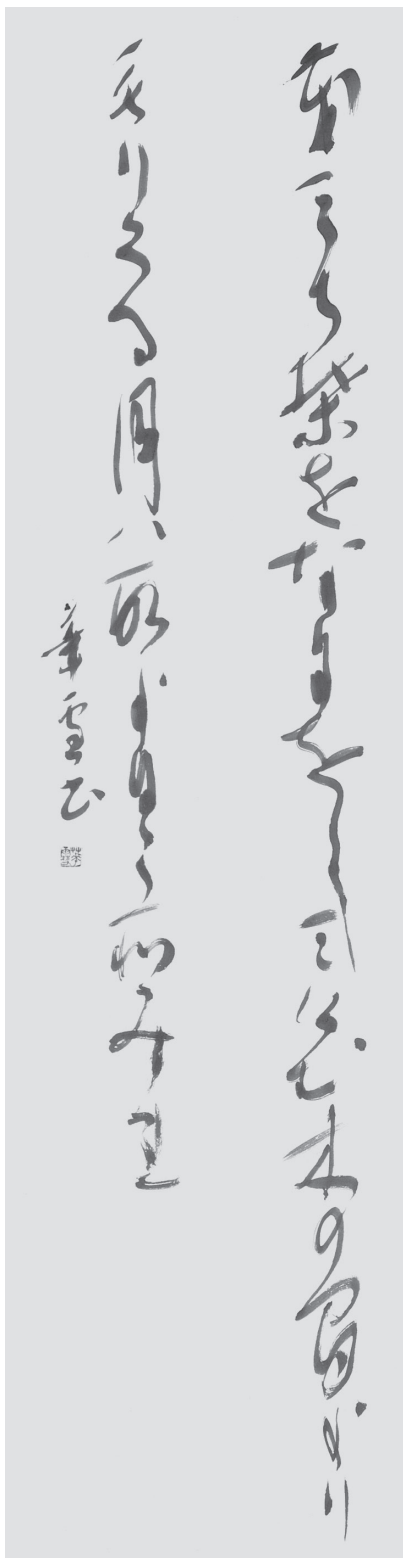
予告 九〇〇号特別昇試第一部漢字参考課題 (12月22日締切) 千里寒江一飛鳥 半山斜日兩歸人 (楊厘)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

条幅部かな課題参考 (十一月二十二日締切)

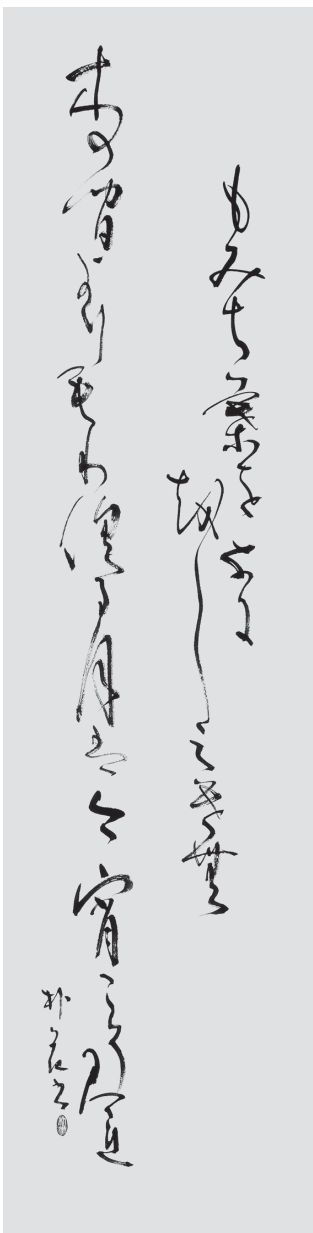
A 平岡華雪先生書

もみぢ葉をなにをしみけむ木の間よりもりくる月は今宵こそみれ(新古今和歌集 中務卿具平親王)
茂三ち葉をなれをし三介む木の間よりもりくる月八故よ日こそみ連



B 向山朴花先生書

もみぢ葉をなれにし三遣無木の間より毛利俱る月盤今宵こそみ連



具平親王のこと

平安京村上天皇の第七皇子。平安中期の漢詩人。慶滋保胤より詩文を学び、管弦、書道、陰陽道、医術に秀で「本朝麗藻」「和漢朗詠集」「本朝文粹」などに詩文を残す。和歌に造詣深く、人麿呂、貫之の評価を巡り論争、その後藤原公任の「三十六人撰」が編まれる。拾遺集初出、勅選入集42首、家集は散佚し、断簡のみ存する。

学び方

歌意：紅葉が散るのをなせ惜しんだのだろう。散ってしまったお陰で、木の間から漏れてくる月が、今夜見られたというのに。
平安朝の和歌です。変体仮名を自在に使用して書きました。変体仮名(表音文字)は、文字の流れを円滑にし、自由に印象的な表現が出来ます。手本を参考に、大小の字、伸縮の字、広い字をあてはめて書いてみてください。
「古典仮名字鑑」は面白いほど変体仮名が載っており、自分の気に入った文字が選べます。そして、行と行がうまくかみ合い調和することも必要です。又、文字と紙面構成に加えて大事なのは「線質」です。筆の柔軟性を生かして左右上下表裏の面を使って、生き生きとした線を表出しましょう。
一目見て、「いいな」と感じられる作品を目指したいと思います。

予告九〇〇号特別昇試第一部かな参考課題

(12月22日締切)

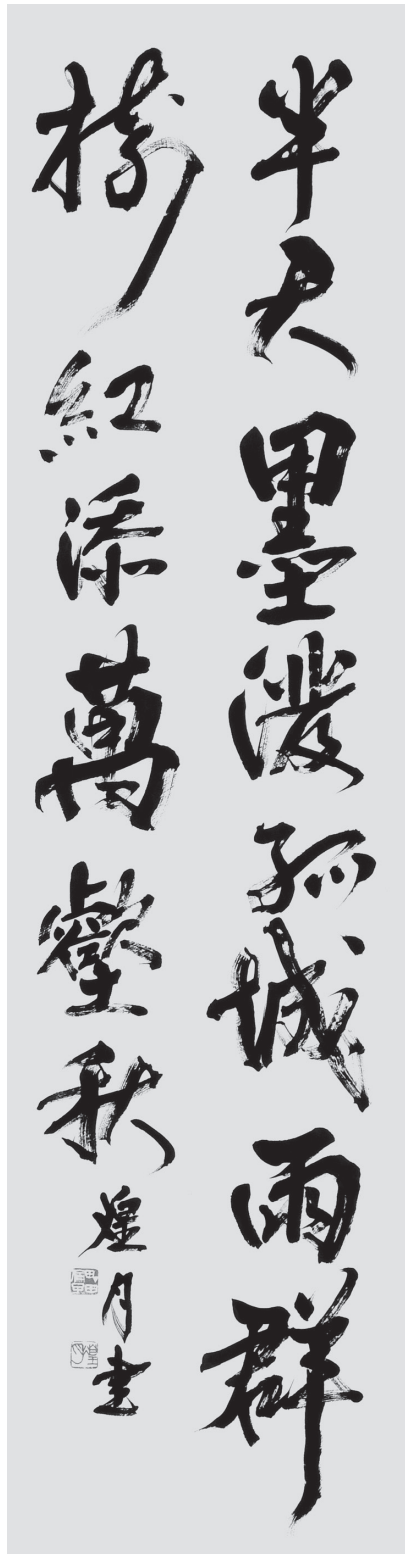
けふはもし君もや訪ふとながむれどまた跡もなき庭の雪哉(新古今和歌集)

- ◆注意 ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品(バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

条幅部 随意参考

町田 煌月 先生 書

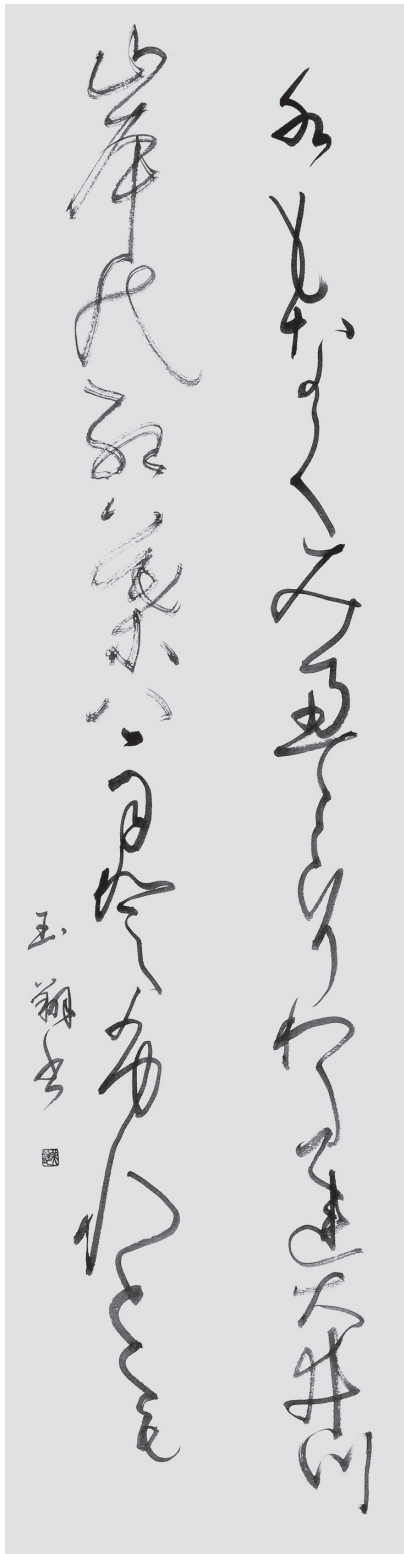
半天墨潑孤城雨 羣樹紅添萬壑秋（朱楷）
半天墨は潑す孤城の雨 群樹紅は添う万壑の秋



訳：天の中途に墨まいたように見えるのは一つ見える城の雨で、多くの樹々が紅葉したのは彼処此処の谷であった。

福田 玉翔 先生 書

水もなくみえこそわたれ大井川岸の紅葉は雨とふれども（藤原定頼）
水もなくみえこそわたれ大井川岸の紅葉は雨とふれども
水もなくみえこそわたれ大井川岸能紅葉八雨登布れと毛

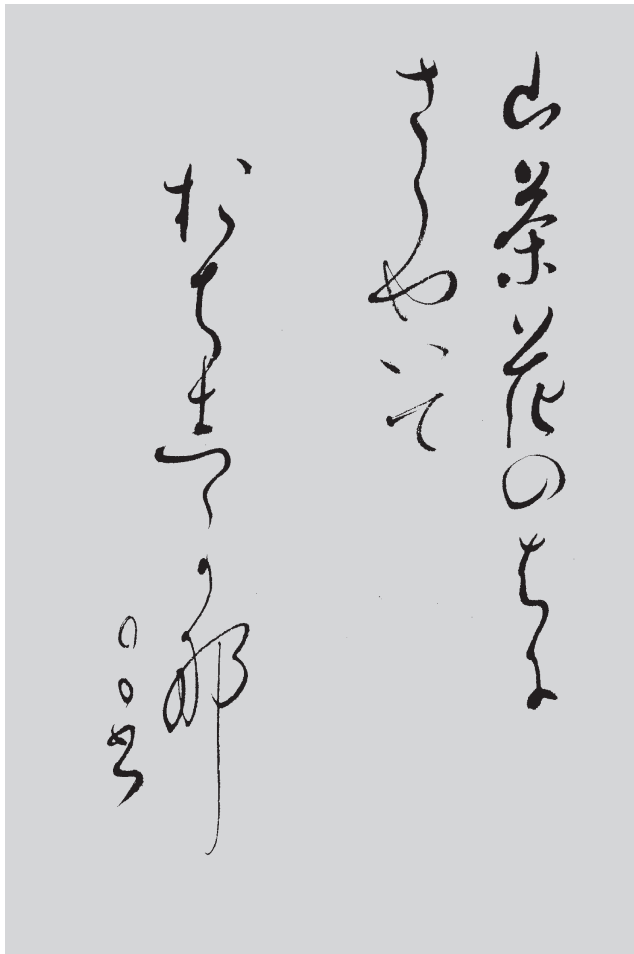


歌意：水もないように見え渡ることだ、大井川は。岸の紅葉が雨のように降っているけれども。水も見えないまでに水面は紅葉であるよ。

- ◆注意 ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
- ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料550円）

かな部課題参考 (十一月二十二日締切)

予告九〇〇号特別昇試第三部かな参考(12月22日締切) 花かたく寒に入りけり玉椿(冥々)



平岡華雪先生書

山茶花の葉にさゝやいて落ちしかな(月舟)
山茶花の者尔さゝやいて於ち志可那

〈書余感〉

右群の「者尔さゝやいて」の渴筆部分が山場になろうか。おどり字を入れた三字連綿に注目。「那」の末画は暢びやかに。

漢字部課題参考 (十一月二十二日締切)

予告九〇〇号特別昇試第三部漢字参考(12月22日締切) 氷壺無影像(槐安國語)



平岡華雪先生書

心遠くして地寛閑たり(魏野)
訳：心は世俗から遠ざかって住居のこどもも静閑である。

〈形ではなく、用筆〉

五文字、それぞれに「はね、ほらい」があります。筆の割れ、かすれ等、表れ方、形は気にすることはありません。要は、パネを使っている用筆です。形に捉われることなく。

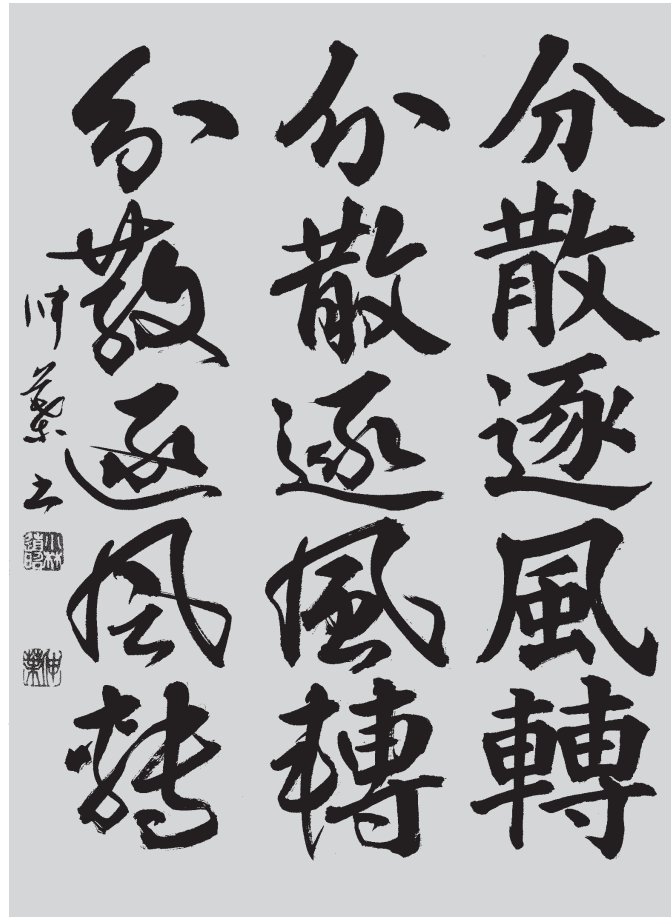
◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に①～④を記入し、作品左隅に貼付の上、出品して下さい。一般会員は無料、会員外出品料は460円。

①出品部門(例：「漢字部」「かな部」) ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

楷、行、草、三体課題参考 (十一月二十二日締切)

漢字かな交じりの書課題参考 (十一月二十二日締切)

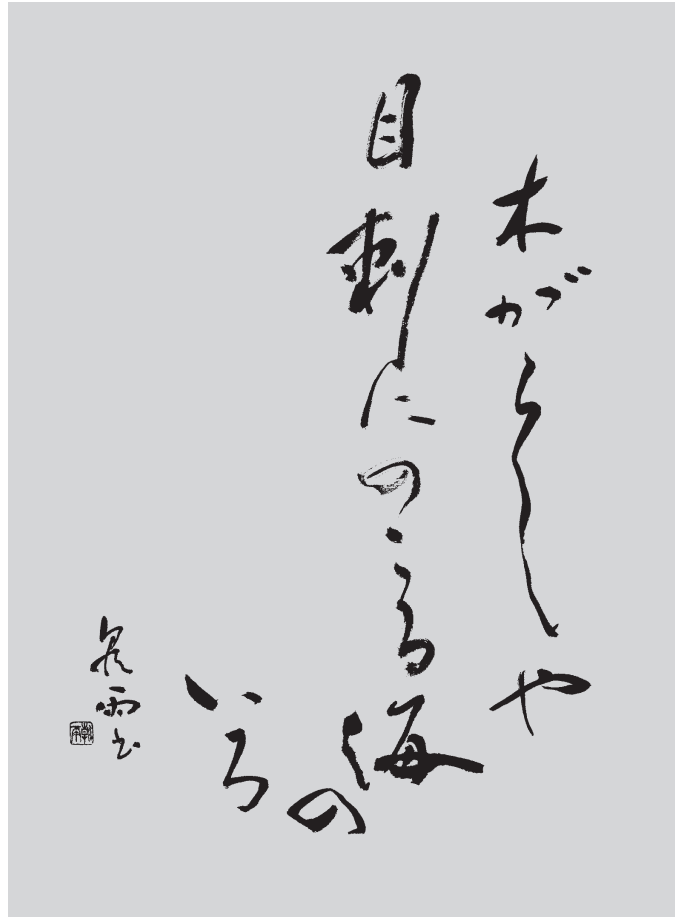
予告 九〇〇号特別昇試第二部漢字参考 (12月22日締切) 落地爲兄弟 (陶淵明)



小林伸葉先生書 分散逐風轉 (陶淵明) 分散し風を逐って転じ、

訳…風のまにまにあちらこちらへ吹き飛ばされて、
 (1)随意部参考として出品してください。(2)会員外の出品料は460円。

檜田朝雨先生書 木がらしや目刺にのこる海のいろ (芥川龍之介)



遺句集『澄江堂句集』77句の厳選による一句。新鮮な目刺の青さは、かつて泳いでいた海の色が染みこんだようだという鋭敏な感覚と、木枯らしが重なり合って、わびしさを感ぜられる。その余情を左半分の大きな空間で表現。たっぷり墨を継いだ「海のいろ」のまとまりの変化が構成の要点。用紙は滲みのでる出雲半紙を用いた。

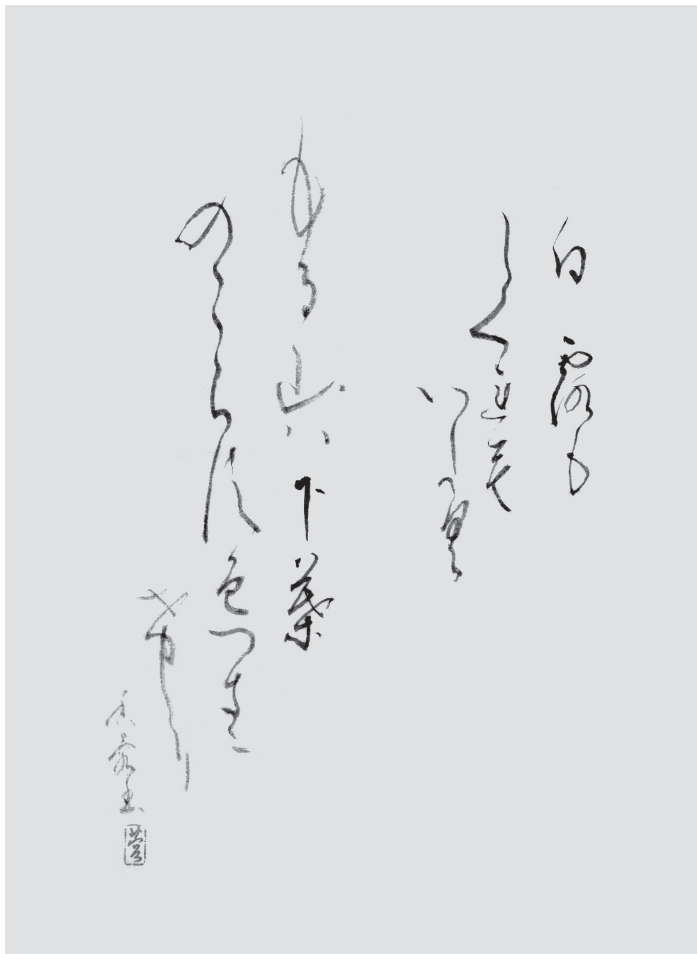
(1)出品料550円 (2)バーコード券余白に「漢か」と記入

随意部参考

随意部参考

予告 九〇〇号特別昇試第二部かな参考(12月22日締切)

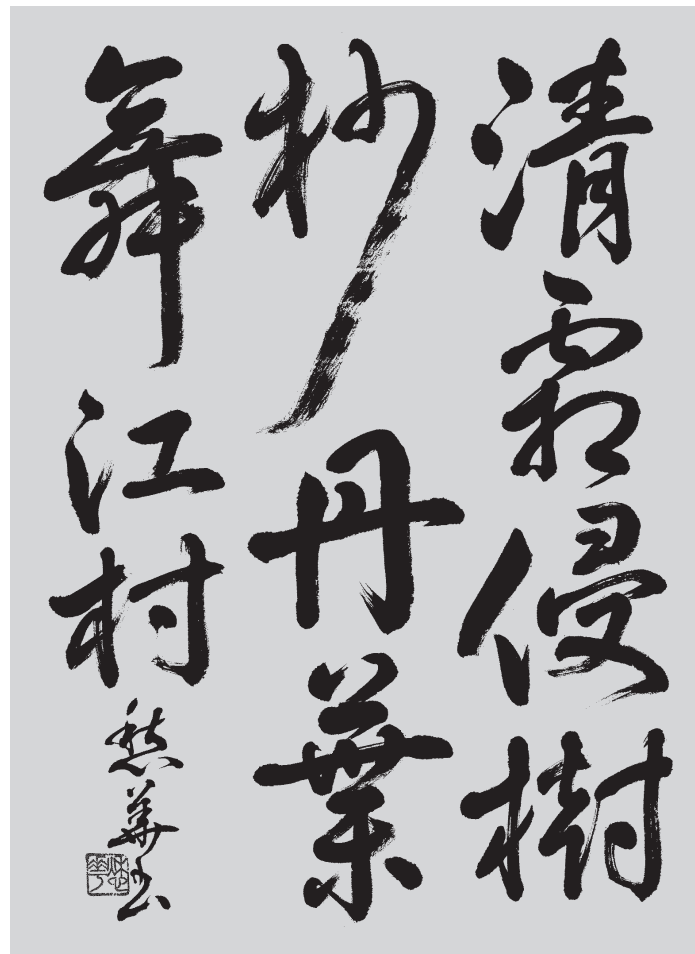
み吉野の山の白雪つもるらし古里さむく成りまざるなり



川上香蓉先生書

しらつゆも時雨もいたくもる山は下ばのこらず色づきにけり (古今和歌集 紀貫之)
白露もし久連毛い多具もる山八下葉のこら須色つ支二希り

訳…白露も時雨もはなはだしく漏る守山は、下葉までも残らず紅葉したことよ。



石田愁華先生書

清霜侵樹 丹葉舞江村 (王徴)
清霜樹を侵し、丹葉江村に舞う。

訳…清く白い霜は木のさきを侵して冷やかに、赤くなった葉は川べの村に飛散している。

(1)随意部参考として出品してください。(2)会員外の出品料は460円。

硬筆部昇試課題参考

(十一月二十二日締切)

稲畑 暁穂 先生書

本澤 優香 先生書

昇試課題2 (初段階以下)

昇試課題1 (師範以下初段以上)

正教授合格者 創作部門(自運作品 自由形式)で出品。

柿の葉の紅葉は、楓のごとく全面深紅
には至らず、ぼつぼつと緑を取り残した
まの黄色や朱色が入っていく。

樹木を持つ静けさには、何やら
あたたかさがある。柔らかなさがある。
あたゝかさがある。森となることや、
其處に冷たい影を落して来る。

課題1 (初段以上)

樹木を持つ静けさには、何やら明
いところがある。柔らかなさがある。
あたゝかさがある。森となることや、
其處に冷たい影を落して来る。

(若山牧水『樹木とその葉』)

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位に)次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (4) 受験料は一、〇二〇円
- (5) 添削希望者は直接担当の先生にお申込下さい。(返信用封筒に自分の住所・氏名を記入し、切手を貼って同封のこと。)

課題1 九九〇円
課題2 五五〇円

課題2 (初段階以下)

柿の葉の紅葉は、楓のごとく全面深紅には至らず、ぼつぼつと緑を取り残したまま黄色や朱色が入っていく。

(梨木香歩『冬虫夏草』)